

日交研シリーズ A-682
平成 27 年度共同研究プロジェクト
自動二輪車の交通事故分析とその活用
刊行：2017 年 4 月

自動二輪車の交通事故分析とその活用

Analysis for Traffic Accidents of Motorcycles and its Solutions

主査：高田 邦道(日本大学名誉教授)

Kunimichi Takada

要 旨

本報告は、自動二輪車の交通事故を分析し、その結果からこれまで実施されてきた自動二輪車関連の交通管理手法と、平成 24～26 年度の研究で提案してきた自動二輪車のバスレーン走行に関する手法について吟味し、より説得性の高い安全な自動二輪車の走行空間確保と道路・交通管理技術の方法論を提案することを研究目的として取りまとめられたものである。

本研究で用いた交通事故データは、ひとつは、一般社団法人日本自動車工業会から一般社団法人交通工学研究会に業務委託され、公益財団法人交通事故総合分析センター(イタルダ)の二輪車事故データを分析したものである。他は、プロジェクトの主査である高田がかつて展開していた『交通事故半減』プロジェクトで事例として検討した鎌ヶ谷市の『交通事故半減プロジェクト』で用いたデータ構造に最近のデータを加え、自動二輪車の交通事故に特化してとりまとめたものである。

一つ一つの交通事故は、それぞれ複数の事故要因の合成によって発生するものであり、また自動二輪車の交通事故だけを抜き出すと必ずしも交通事故の発生場所が集中しているわけではないので、本プロジェクトチームが過去に提案した自動二輪車の走行空間確保と道路・交通管理技術の方法論の提案を証明するまでには至らなかった。しかし、提案した方法論は二輪車利用者がより安全に、秩序ある走行が可能ないくつかの知見を見出すことができている。

キーワード：交通事故分析、自動二輪車

Keywords : Traffic Accidents, Motorcycles